

2019年7月 IR説明会

- 第48期 決算説明と第49期 業績予想 -



株式会社ナック 東証一部 9 7 8 8

目次



- 1. 第48期決算概要
- 2. 第49期業績予想と施策
- 3. 配当方針

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが 現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また 新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、 実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。



1. 第48期決算概要



第48期:連結損益計算書



	for a 0.115	計画	 		胡比
	第48期 実績	第48期 計画	達成率	第47期 実績	増減率
売 上 高	89,111	96,500	92.3%	89,818	▲ 0.8 %
売 上 総 利 益	34,763	-	-	34,785	▲ 0.1 %
(売 上 総 利 益 率)	39.0 %	-	-	38.7 %	+ 0.3 pt
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	32,725	-	-	33,148	▲ 1.3 %
営 業 利 益	2,037	2,000	101.9 %	1,637	24.5%
(営 業 利 益 率)	2.3 %	2.1 %	+ 0.2 pt	1.8 %	+ 0.5 pt
営 業 外 損 益	43	-	-	▲ 62	-
経 常 利 益	2,081	2,050	101.5 %	1,574	32.2 %
特別損益	▲ 168	-	-	▲ 1,021	-
親会社株主に帰属する当期 純 利 益	798	600	133.0 %	▲ 994	-

1 セグメント別:売上高



	75 4 O HE	計画	可比	前其	月比
	第48期 実績	第48期 計画	計画比	第47期 実績	前期比
クリクラ事業	13,179	13,700	▲ 521	13,158	+ 20
レーンタール事業	14,394	14,200	+ 194	13,727	+ 667
建築コンサルティング事業	5,459	6,300	▲ 841	5,383	+ 75
住宅事業	46,318	52,500	▲ 6,182	47,492	▲ 1,174
美容・健康事業	9,801	9,800	+ 1	10,115	▲ 314
消去調整他	▲ 41	-	▲ 41	▲ 59	+ 18
合計	89,111	96,500	▲ 7,389	89,818	▲ 706

1 セグメント別:営業利益



		計画	町比		月比
	第48期 実績	第48期 計画	計画比	第48期 実績	前期比
クリクラ事業	788 (6.0 %)	405 (3.0 %)	+ 383 (+ 3.0 pt)	596 (4.5 %)	+ 192 (+ 1.5 pt)
レーンタール事業	1,998 (13.9 %)	2,000 (14.1 %)	▲ 1 (▲ 0.2 pt)	2,021 (14.7 %)	▲ 22 (▲ 0.8 pt)
建築コンサルティング事業	754 (13.8 %)	755 (12.0 %)	▲ 0 (▲ 1.8 pt)	775 (14.4 %)	▲ 21 (▲ 0.6 pt)
住 宅 事 業	▲ 694 (▲ 1.5 %)	160 (0.3 %)	▲ 854 (▲ 1.8 pt)	▲ 736 (▲ 1.6 %)	+ 41 (+ 0.1 pt)
美容・健康事業	255 (2.6 %)	80 (0.8 %)	+ 175 (+ 1.8 pt)	147 (1.5 %)	+ 108 (+ 1.1 pt)
全社費用等	▲ 1,064	▲ 1,400	+ 335	▲ 1,166	+ 102
合計	2,037 (2.3 %)	2,000 (2.1 %)	+ 37 (+ 0.2 pt)	1,637 (1.8 %)	+ 400 (+ 0.5 pt)

[※] カッコ内の数字は売上高に対する営業利益率です。

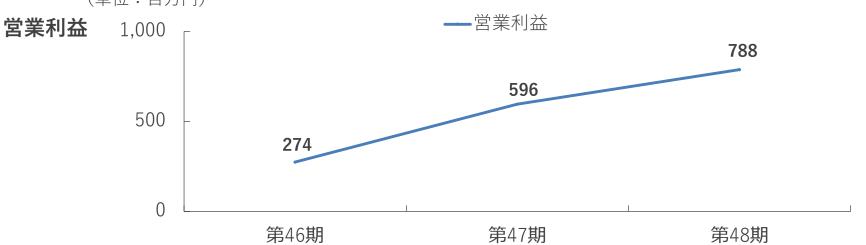
セグメント別業績(1)クリクラ事業





※①セグメント間売上2百万円を含む。 ※②セグメント間売上4百万円を含む。 ※③セグメント間売上3百万円を含む。

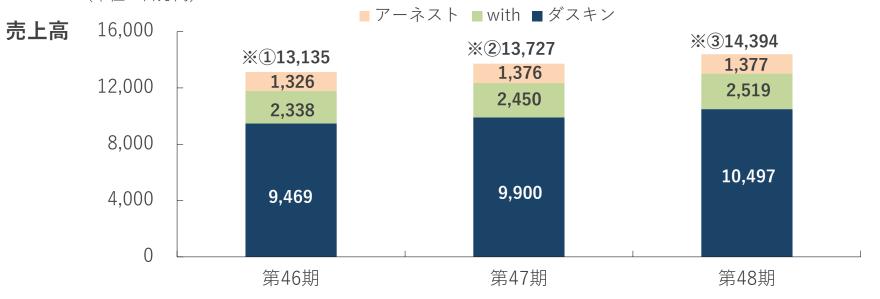






セグメント別業績(2)レンタル事業





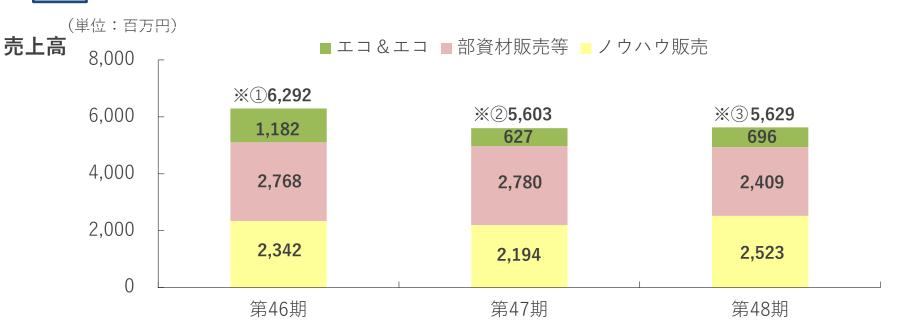
※①セグメント間売上1百万円を含む。※②セグメント間売上4百万円を含む。 ※③セグメント間売上6百万円を含む。





セグメント別業績(3)建築コンサルティング事業





※①セグメント内売上202百万円を含む。 ※②セグメント内売上219百万円を含む。 ※③セグメント内売上169百万円を含む。



セグメント別業績(4)住宅事業

▲622

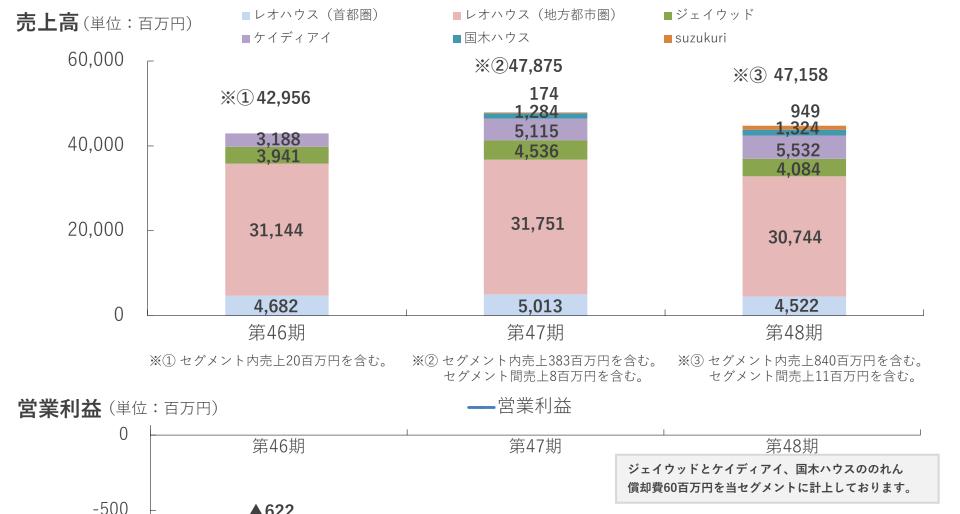
-1,000

【地方都市圏】 首都圏以外

【首都圏】 東京 神奈川 千葉 埼玉

▲694



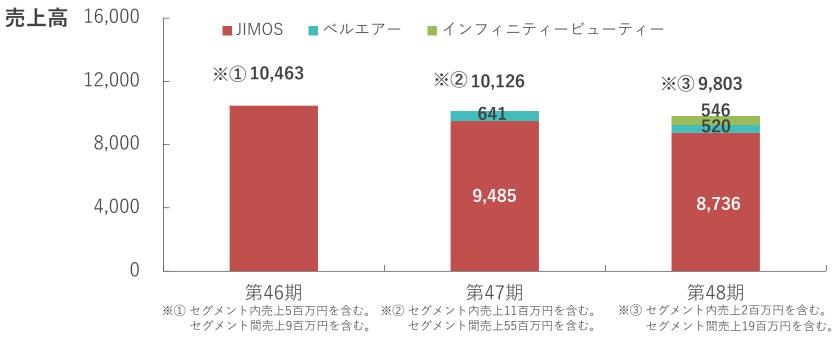


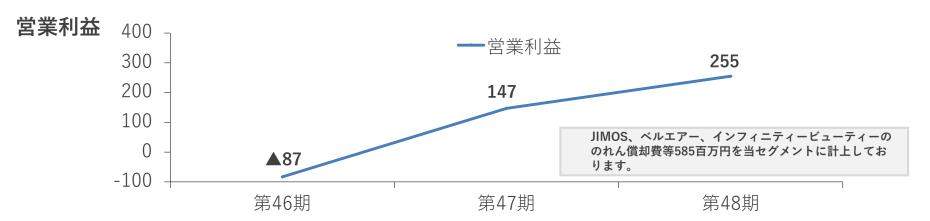
▲736

セグメント別業績(5)美容・健康事業



(単位:百万円) ※第48期より通販事業から美容・健康事業に名称変更しております。





第48期:連結貸借対照表



(単位:百万円)

				2019年 3月末	構成比	2018年 3月末	構成比	増減額
流	動	資	産	31,575	63.6 %	22,980	54.6 %	+ 8,595
有	形固	定資	産	11,457	23.1 %	12,579	29.9 %	▲ 1,121
無	形固	定資	産	2,549	5.1 %	2,782	6.6 %	▲ 232
投	資 そ の	他の資	産	3,908	7.9 %	3,773	9.0 %	+ 134
固	定	資 産	計	17,916	36.1 %	19,135	45.4 %	▲ 1,219
繰	延 資	産 合	計	134	0.3 %	-	-	+ 134
資	産	合	計	49,626	100.0 %	42,115	100.0 %	+ 7,510
流	動	負	債	23,410	47.2 %	20,973	49.8 %	+ 2,437
固	定	負	債	6,055	12.2 %	7,027	16.7 %	▲ 972
負	債	合	計	29,465	59.4 %	28,001	66.5 %	+ 1,464
株	主	資	本	20,950	42.2 %	14,873	35.3 %	+ 6,076
7 C	の他の包括	舌利益累計	十額	▲ 789	▲ 1.6 %	▲ 758	▲ 1.8 %	▲ 30
純	資	童 合	計	20,161	40.6 %	14,114	33.5 %	+ 6,046
負	債 • 純	資 産 合	計	49,626	100.0 %	42,115	100.0 %	+ 7,510

主な増減要因

■ 流動資産 : 現金・預金 + 1,906 販売用不動産 + 4,895■ 固定資産 : 建物及び構築物 ▲ 738 リース資産▲ 524

■ 流動負債 : 短期借入金 + 1,900 買掛金 + 917■ 固定負債 : リース債務 ▲ 476 長期借入金▲ 400

自己資本比率 : 40.6 %

^{※「『}税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結累計期間の期首から適用しており、 前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

第48期:連結キャッシュフロー



(単位:百万円)

	'19.3月期 実績	'18.3月期 実績	増減額
1.営業活動によるCF	▲ 2,200	1,152	▲ 3,352
2.投資活動によるCF	▲ 835	▲ 905	70
3.財務活動によるCF	4,941	▲ 473	5,414
現金及び現金同等物の増減額	1,906	▲ 225	2,132
現金及び現金同等物の期首残高	7,261	7,430	▲ 168
新規連結等に伴う現金及び現金同 等物の増加額	-	56	▲ 56
現金及び現金同等物の期末残高	9,167	7,261	1,906
減価償却費	1,546	1,783	▲ 236

当期の主な要因

■ 営業活動:未成工事受入金の増加3,514百万円、減価償却費782百万円等による資金の増加。

たな卸資産の増加3,112百万円、仕入債務の減少2,315百万円、四半期純損失1,231百万円等による資金の減少。

■ 投資活動:貸付による支出63百万円、無形固定資産の取得による支出62百万円等による資金の減少。

■ 財務活動:株式の発行による収入5,291百万円等による資金の増加。

4.5%

14.7%

14.4%

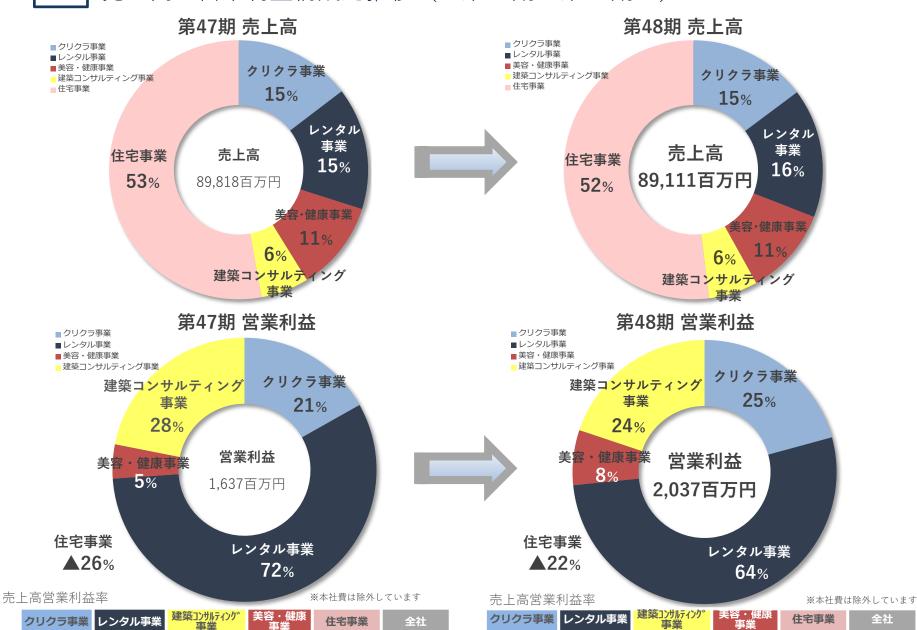
1.5%

▲1.6%

1.8%

売上高・営業利益構成比推移 (第47期 ⇒ 第48期





6.0%

13.9%

13.8%

2.6%

▲1.5%

2.3%



2. 第49期 業績予想と施策

第49期 連結業績予想



				第49期 予想	第48期 実績	前期比
売	Ţ	-	高	102,000	89,111	+ 12.4 %
営	業	利	益	2,200	2,037	+ 8.0 %
経	常	利	益	2,150	2,081	+ 3.3 %
	社 株 主 期		する 益	1,000	798	+ 25.3 %
年	間	酉己	当	36 円	34 円	-
Е	Р)	S	50.50 円	40.32 円	+ 10.18 円

[≫] 住宅事業の建て直しを軸に、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益ともに増加を見込む。



第49期 セグメント別:売上高予想



売 上 高	第49期 予想	第48期 実績	増減率
クリクラ事業	13,400	13,179	+ 1.7 %
レンタル事業	14,500	14,394	+ 0.7 %
建築コンサルティング事業	5,800	5,459	+ 6.2 %
住 宅 事 業	55,000	46,318	+ 18.7 %
美容・健康事業	11,500	9,801	+ 17.3 %
消去調整他	-	▲ 41	-
合計	100,200	89,111	+ 12.4 %



第49期 セグメント別:営業利益予想



営 業 利 益	第49期 予想	第48期 実績	増減率
クリクラ事業	500	788	▲ 36.6 %
	(3.7 %)	(6.0 %)	(▲ 2.3 pt)
レーンタール事業	1,500	1,998	▲ 24.9 %
	(10.3 %)	(13.9 %)	(▲ 3.5 pt)
建築コンサルティング事業	800	754	+ 6.1 %
	(13.8 %)	(13.8 %)	(+ 0.0 pt)
住 宅 事 業	550 (1.0 %)	▲ 694 (▲ 1.5 %)	(+ 2.5 pt)
美容・健康事業	100	255	▲ 60.9 %
	(0.9 %)	(2.6 %)	(▲ 1.7 pt)
全 社 費 用 等 (新規・M&Aを含む)	▲ 1,250	1 ,064	-
合 計	2,200	2,037	+ 8.0 %
	(2.2 %)	(2.3 %)	(A 0.1 pt)



第49期上期 セグメント別:売上高予想



売 上 高	第49期上期 予想	第48期上期 実績	増減率
クリクラ事業	6,600	6,925	▲ 4.7 %
レンタル事業	7,200	7,145	+ 0.8 %
建築コンサルティング事業	2,700	2,427	+ 11.2 %
住 宅 事 業	22,500	16,860	+ 33.4 %
美容・健康事業	5,700	4,494	+ 26.8 %
消去調整他	-	▲ 17	-
合計	44,700	37,835	+ 18.1 %



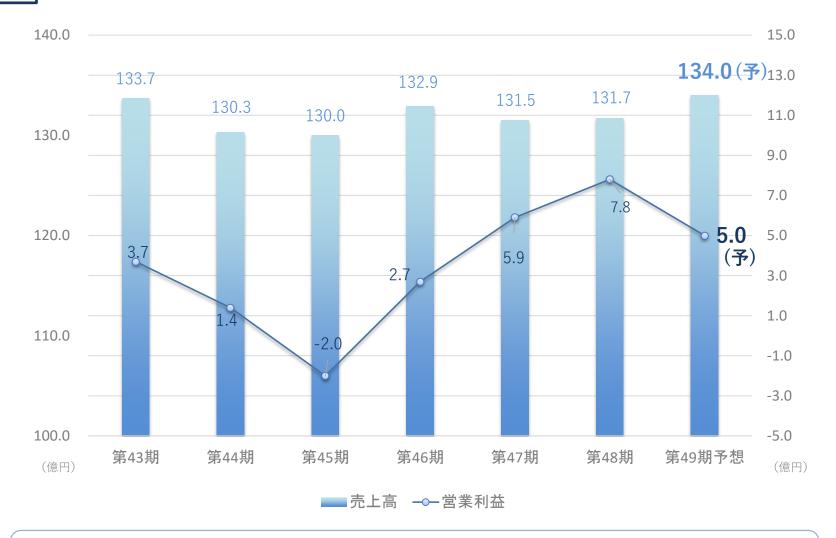
第49期上期 セグメント別:営業利益予想



営 業 利 益	第49期上期 予想	第48期上期 実績	増減率
クリクラ事業	110 (1.7 %)	458 (6.6 %)	▲ 76.0 % (▲ 4.9 pt)
レンタル事業	710 (9.9 %)	946 (13.3 %)	▲ 25.0 % (▲ 3.4 pt)
建築コンサルティング事業	280 (10.4 %)	197 (8.1 %)	+ 20.9 % (+ 2.3 pt)
住 宅 事 業	▲ 1,490 (▲ 6.6 %)	▲ 2,195 (▲ 13.0 %)	(+ 6.4 pt)
美容・健康事業	▲ 120 (▲ 2.1 %)	▲ 99 (▲ 2.2 %)	(+ 0.1 pt)
全 社 費 用 等 (新規・M&Aを含む)	▲ 640	▲ 512	-
合計	▲ 1,150 (▲ 2.6 %)	▲ 1,204 (▲ 3.2 %)	(+ 0.6 pt)

第49期 業績予想 クリクラ事業





【市場環境】

宅配水業界は、市場が緩やかな成長を続ける一方で、顧客獲得競争が激しさを増しております。 また、宅配料金値上げに伴うワンウェイ業者の更なる収益性の悪化が懸念されています。



第49期 施策 クリクラ事業



>>重点施策:新規顧客の獲得とZiACOブランドの確立



クリクラ[宅配水]

クリクラ事業では、イベント、テレアポ、 Webなど今まで注力していなかった訪問販 売以外のアプローチを展開し、顧客数の増 加に取り組みます。

2018年10月より販売を開始した自社製次亜 塩素酸水溶液による除菌・消臭システム「 ZiACO(ジアコ)」の販売に引き続き注力 するとともに、ブランド確立を目的として 投資を行います。





第49期 業績予想 レンタル事業





【市場環境】

高齢化世帯や単身世帯、共働き世帯の増加による家事支援サービスの市場規模拡大が予想されますが、参入障壁は低いため、異業種からの参入や価格競争が増加すると思われます。また、労働市場における人手不足への対処が大きな課題となっております。



第49期 施策 レンタル事業



>>重点施策:ダスキン事業の拡大



ダスキン[レンタル商品]

ダスキン事業では、人生100年時代に向けたサービス事業として、既存事業であるトータルケアサービス部門での家事支援サービスを拡充します。計画としては4年で100事業の導入を予定しております。また、下期より新規事業として高齢者向けの介護用品・福祉用品のレンタル事業に参入します。

また、最大の課題である人材不足に対応すべく人材派遣業のノウハウを持つ株式会社バックスグループと合弁会社を設立しました。

20事業



100事業







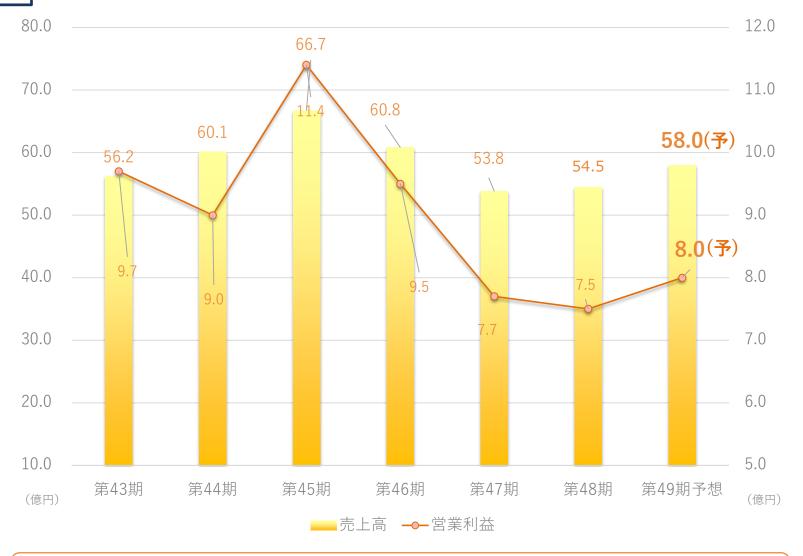
合弁会社の設立





第49期 業績予想 建築コンサルティング事業





【市場環境】

地場建築市場では、慢性的な職人不足や世帯数の減少といった下押し要因により投資抑制基調が持続しております。



第49期 施策 建築コンサルティング事業



>>重点施策:ノウハウ販売での新商品開発と再生可能エネルギー商材の販促強化



建築コンサルティング[工務店支援]

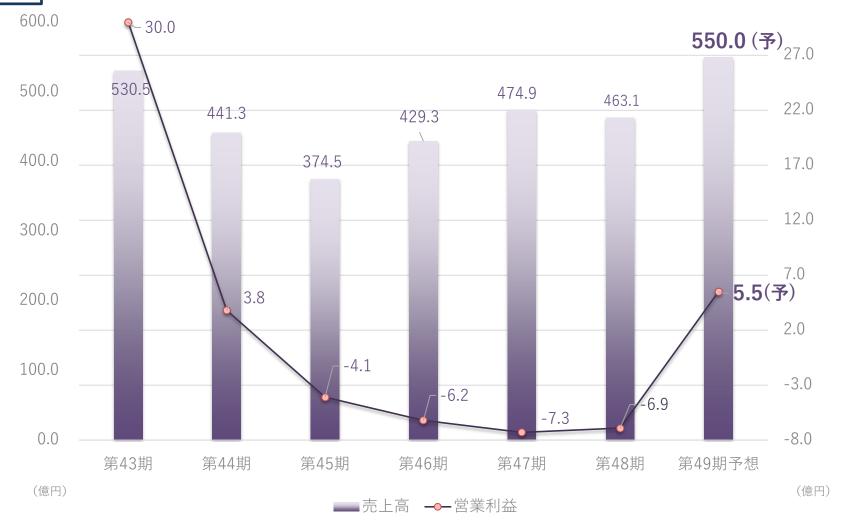
建築コンサルティング事業では、ノウハウ販売でオリジナル新商品の開発を進め、建築業界のかかえる困りごとに応じた商品提案と継続的支援が可能な環境を整えます。 建築部資材販売では、国および自治体による省エネ施策に軸足を置く住宅市場への太陽光発電、蓄電池を中心とした再生可能エネルギー商材の販売促進活動を強化します。





第49期 業績予想 住宅事業





【市場環境】

住宅業界は、持家の新設住宅着工戸数が6ヶ月連続で増加するなど、消費増税に向けて需要の増加が見られましたが、増税後の需要の落ち込み防止を狙って、政府による住宅ローン減税の延長をはじめとする住宅取得支援制度が拡充されたことにより、顧客の様子見が発生するなど、厳しい市場環境が続いております。



第49期 施策 住宅事業



>>重点施策:経営資源の適正配分を徹底



レオハウス[注文住宅]

住宅事業は、注文住宅を手掛ける子会社における店舗 統合やダウンサイジングを更にすすめ、販売費および 一般管理費の効率的運用と経営資源の適切な配分により、早期黒字転換を目指します。

住宅事業の中核子会社レオハウスでは、分譲住宅の拡充やOB顧客へのリフォーム・リノベーション事業にも 注力してまいります。

レオハウスにおける受注・完工引渡数の比較 (単位:棟数/店舗)

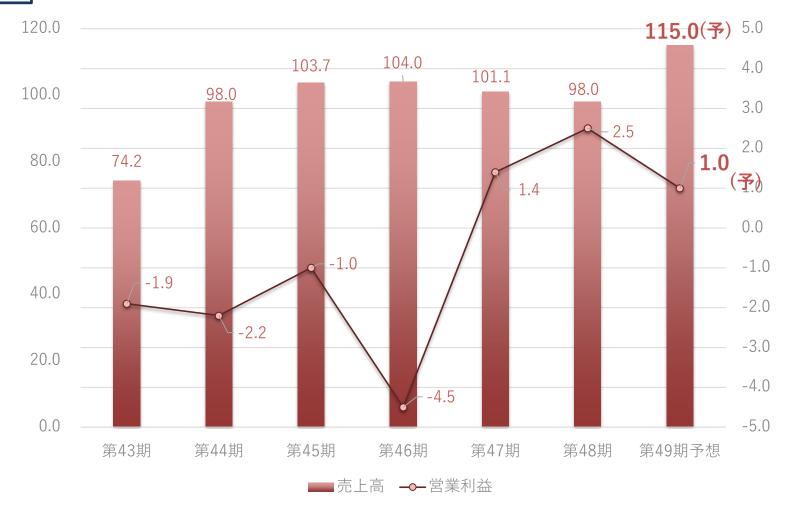
	第48期	第47期	増減
受注数	1,870	1,889	▲ 29
完工引渡数	1,749	1,895	▲ 146
受注残	976	944	+ 32
店舗数	88	101	▲ 13
単価	1,806万円/棟	1,792万円/棟	+ 14





第49期 業績予想 美容・健康事業





(億円)

【市場環境】

日本国内におけるBtoC-EC (消費者向け電子商取引)の市場規模は、18兆円(前年比8.9%増)まで拡大しております。また、越境のBtoC-EC市場規模においても対中国で1.5兆円(前年比18.2%増)、対米国で0.8兆円(前年比15.6%増)と、急速に拡大しております。



第49期 施策 美容·健康事業



>>重点施策:広告宣伝の強化と販路拡大

"jimos one to only one

JIMOS[化粧品・健康食品]

JIMOSにおいて、新商品開発を行うとともに、広告宣伝費及び販売促進費を増やすことに加え、国内ECモール、海外通販など販売チャネルの拡大を図り、売上高の増加を目指します。また、物流生産性の最適化を目的として値上げ圧力の強まる配送業者との業務改善に取り組んでまいります。

なお、事業効率の向上を目的として、4月1日にJIMOSが子会社のインフィニティービューティーを吸収合併いたしました。

広告費の増額







販売チャネルの拡大







海外通販

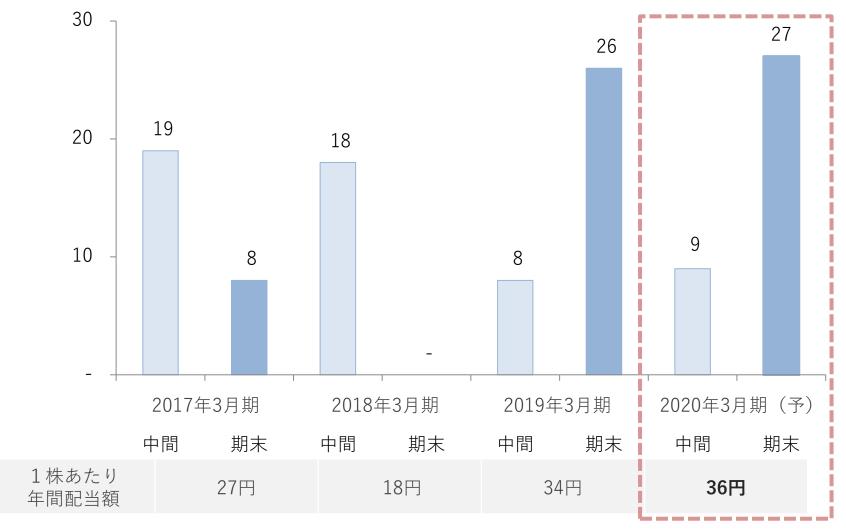


3. 配当方針

配当方針:純資産配当率(DOE)4%かつ配当性向100%以内



(単位:円)



- ≫ 配当方針の「連結純資産配当率4%」を基準に2020年3月期年間配当額は36円の予定。
- ≫ 2019年3月期より、中間・期末の支払割合を従来の「1:1」から「1:3」の比率に変更。

